

らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 141 6月号

2017年6月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL (0791) 62-0469

新宮図書館 TEL (0791) 75-3332

揖保川図書館 TEL (0791) 72-7666

御津図書館 TEL (079) 322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>



携帯専用サイトへは、
左のQRコードから
(<https://www.lib100.nexs-service.jp/tatsuno-city/mobile/index.do>)

読書と私 No.132

「人生と読書」

龍野町 大谷 晴夫

私が小学生の時は漫画の本ばかりに夢中で、中学生になった時、心配した次姉が世界文学全集を持ってきてくれました。第1回は『風と共に去りぬ』でした。全集の中では『ジェーン・エア』が好きな本でした。中学3年の頃、結婚した長姉が吉川英治の『宮本武蔵』を送ってきてくれました。それからは吉川英治の本に夢中になり、特に『三国志』が大好きで、それから中国物の本をよく読むようになりました。20代、30代は仕事を中心に、料理関係の本を買っていました。40代になり、龍野に落ち着いてからは、よく図書館を利用させていただくようになりました。

歴史物や時代物(人物、忍者物、剣客物、市井物、捕物等)が好きで、特に藤沢周平さんの作品は何度読んでも、またしばらくすると読みたくなります。多分作品の中に自分に似た人、理想の人、友などを、時代を超えて見ているのかも知れません。その他、時代小説ではありませんが、千日回峰行を2度満行なされた酒井雄哉さんの『一日一生』などの本を、度々借りています。決して長時間読むわけではありませんが、68歳の現在、読書は趣味というよりは、食事や風呂のような生活の一部となっております。お陰様で身体の方は、探せば悪いところの2つ3つあると思いますが気にもせず、毎日健康に暮らせていただいております。なかなかできませんが、何事も感謝で受けとらせていただくよう心掛けさせていただいております。たつの市民の皆様が一人でも多く図書館を利用されることをお祈りいたします。館員の皆様にはいつもありがとうございます。



『一日一生』酒井雄哉 著
朝日新聞出版

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいております。

『シリア難民 人類に突きつけられた21世紀最悪の難問』

パトリック・キングズレー 著 藤原 朝子 訳 ダイヤモンド社



独裁体制に反対する「アラブの春」の波は、2011年2月、シリアでも首都で反政府抗議デモの形で起こった。翌月、学校の壁に民主化を求める落書きをした少年が、逮捕、拷問され、

デモが拡大した。デモ鎮圧のためアサド政府軍が住民を虐殺し、嫌気のさした離脱兵が「自由シリア軍」に集まり、騒乱が反政府武力闘争に発展し、ISの台頭もあり、全土で内戦状態となった。

水道局勤務の37歳のハーシムは、ある日突然連行、6ヶ月も監禁された。自宅は破壊され、息子たちの下校途中にも爆弾が落ち、これ以上、シリアには住めないと決意する。貴金属を売って、渡ったエジプトも国情が不穏になり、難民申請したシリア人に永住権を与えるスウェーデンをめざすことにする。エジプトから密航業者

の船で、びしょ濡れ、ぎゅう詰めになって他人の吐瀉物をあびながらイタリアに到着。仏、独、デンマークと列車を乗り継ぎ、逮捕に怯えながらも、現地新聞を読むふりで警官をやりすごし、スウェーデンに到着する。

著者は、密航ビジネスの詳細にも踏み込む。転覆死もある地中海ルートや、それ以上に過酷なサハラ砂漠越えを難民と共にすることで、故国で一度は死んだも同然と考える人々が欧州をめざすのは止められないと実感した。そのうえで、根本的な解決法は、阻止ではなく、難民の安全な欧州到達手段と、同水準の居住権・社会保障の保護システムだと述べる。

英国紙記者のルポである本書では、国を捨てるを得ない普通の市民の、定住先を求める旅をたどる手法が、複雑な難民事情への共感を伴った理解を呼び、私たちに、単純化や都合の良い見方ではなく、ハーシムのような“人”を通して考える想像力があるかと問う。

(揖保川図書館 大西)

トピックス

イベントのお知らせ

※申込、問い合わせは各図書館まで

揖保川図書館

鳥たちの落としもの ～ 兵庫の鳥の羽根展示 ～

美しさと機能性を合わせ持つ鳥の羽根の展示を行い、展示物の説明会を実施します。

《展示》【期間】6月1日(木)～29日(木) 《説明会》【講師】市原 晨太郎さん(新宮町在住)
【場所】揖保川図書館 【日時】6月18日(日)11時～11時30分
【場所】揖保川図書館

巡回展示(予定)【7月】新宮図書館【8月】御津図書館【9月】龍野図書館 ※詳細は後日お知らせします

御津図書館

作ってみよう! つまみ細工

ゆかたにも似合う髪飾りやブローチをつくりませんか?

【日時】6月24日(土) ①10時10分～11時40分
②14時～15時30分

【場所】御津図書館

【持ってくるもの】ピンセット、布用はさみ

【対象】一般(中学生以上) 【定員】各10名(先着順)

【申込】御津図書館(電話可)6月1日(木)から受付開始



おすすめする子どもの本・130

『チム、ジンジャーをたすける』

エドワード・アーディゾーニ さく なかがわ ちひろ やく 福音館書店



マクフィー船長の船で航海に出たチムは、一等ボーイのジンジャーと友達になりました。いたずらなジンジャーはある日、三等航海士の船室に入り込むと、

ずらりと並んだ毛生え薬を全部自分の頭にかけてました。すると、短かった髪があっという間に背中まで伸びてしまいました。誰も彼もがジンジャーに「髪を切れ！」と怒鳴りますが、いくら切ってもすぐに伸びてしまうのです。つらくなったジンジャーは甲板の上のボートに隠れて過ごすようになりました。

ある日、嵐がやってきて船長はボーイたちに絶対に甲板へ出ないよう指示しました。

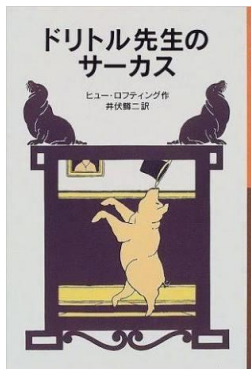
しかし、ジンジャーはボートに隠れたままです。心配でたまらないチムは大波がかぶってくる危険な甲板を突っ切りボートへと向かいます。

チムが、一緒に船室に行こうと呼びかけてもジンジャーは頑として動きません。その時、山のような大波が襲いかかり、ジンジャーを海へと流してしまいました。チムは縄ばしごにつかまりながら必死でジンジャーを引き揚げました。

嵐の場面は緊迫感があり、読んでもらう子どもたちはチムと共に命がけで友達を救出する大冒険をします。作者自身の手による、その場の空気まで感じられる絵が、物語の世界をよく伝えます。

チムシリーズの3作目。読んでもらうなら5歳くらいから。（御津図書館 杉岡）

『ドリトル先生のサーカス』 ヒュー・ロフティング 作 井伏 鱒二 訳 岩波書店



動物と話せるお医者さんのドリトル先生は、旅行中に壊してしまった船の代金を稼ぐため、家族の動物たちと一緒に、頭の2つある珍しい動物オシツオサレツを連れて、サーカス団

に入ることになりました。

そこでオットセイのソフィーと出会った先生は、ソフィーが北極からサーカスへ連れてこられたために、群れの指導者だったソフィーの夫が元気をなくし、群れが全滅しかかっていることを知ります。「オットセイは人間の持ち物ではない。そこに帰りたいというからには、そこへ帰らせなければならぬのだ」と、先生は何としてもソフィーを北極へ帰そうと決めます。しかし、動

物たちや友人のマシュー夫妻の協力で、ソフィーをサーカスから脱出させたものの、オットセイを連れて乾いた土の上を旅行することは、さらに大変なことでした。猟犬に追われたり、ソフィーを婦人に変装させて馬車に乗せたり、追いはぎに間違われて保安官に捕まりそうになったりと、波瀾の旅の末、先生はソフィーを無事海に帰すことができました。

ドリトル先生が、サーカスの動物たちの待遇を改善し、動物自ら楽しんで演じる「パドルビーのだんまり芝居」などの出し物を大成功させ、観客も団員もみんな家族のような「ドリトル・サーカス」を結成する結末に、動物たちへの深い愛情を感じ、幸福な読後感を得ます。10歳くらいから。

（龍野図書館 西田）

6月の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

★ えほんのじかん・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌など

龍野図書館 【対象】1～3歳児、保護者
10日(土)・17日(土) 11時～11時20分
『おててがでたよ』他

新宮図書館 【対象】2～4歳児、保護者
12日(月)・18日(日)・26日(月) 11時～11時20分
『ぼくのながぐつ』他

揖保川図書館 【対象】2～4歳児、保護者
3日(土)・10日(土)・17日(土) 10時30分～10時50分
『おじさんのかさ』他

御津図書館
【対象】1～4歳児、保護者
11日(日)・18日(日)
11時～11時20分
『かたつむりタクシー』他

【対象】5歳児～
11日(日)・18日(日)
11時30分～11時50分
『ぐりとぐらのえんそく』他

★ おはなしのじかん【対象：5歳児以上】・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌、語りなど

新宮図書館
3日(土)・10日(土)・17日(土)・24日(土)
10時15分～10時45分
「雌牛のブーコー」「七わのからす」他

揖保川図書館
3日(土)・10日(土)・17日(土)
11時～11時30分
「王さまとオンドリ」他

★ 読書会【対象：一般】・・・本を読んで感想を話し合う

龍野図書館
9日(金) 10時～11時30分
『あいうえお論語』
関谷学校顕彰保存会 著

揖保川図書館
16日(金) 10時～12時
『芋粥』芥川 龍之介 作

御津図書館
21日(水) 13時30分～15時30分
『徒然草REMIX』酒井 順子 作

★ 子どもの本を読む会【対象：一般】

龍野図書館
8日(木) 10時～11時30分
『五月三十五日』ケストナー 作



はじめての方も
気軽にご参加く
ださい

館内特集・展示 (一部紹介)

龍野図書館
私の時間の使い方
6月10日の「時の記念日」にちなみ、時間の使い方をテーマにした特集をします。
忙しいママやビジネスマン必見!! タイムマシンで時間旅行も!?
【期間】6月29日まで

新宮図書館
家族のものがたり
父の日を前に、家族をテーマにした心に響く小説や随筆を集めています。
＜YA (ヤングアダルト) コナー＞
食べざかいの君たちへ
いちご水のエピソードが有名な『赤毛のアン』や甘い恋とお菓子の話『初恋料理教室』などお腹も心も満足する本を揃えています。
【期間】6月29日まで

揖保川図書館
**揖保川図書館
ベストリーダー**
平成28年度中に揖保川図書館で貸出の多かった本を集めました。
【期間】6月29日まで
涼しく暮らす
(6月中旬から)
暑い夏を快適に暮らすための本を紹介します。
【期間】7月中旬まで

御津図書館
もう一度学ぶ
学生の頃は苦手だと思っていた勉強も大人になってからすると、意外と楽しかったりします。普段の生活に役立つ知識や「そうだったのか!」と目からウロコの本をさまざま取り揃えて展示しています。この機会にもう一度学びなおしてみませんか?
【期間】6月28日まで